



くわでいーさー



校訓
自 律
協 働
剛 健

令和6年6月3日発行

新入生歓迎レク大会

5月2日(水)に、新入生歓迎レク大会を開催しました。体育レク専門員会と生徒会執行部が中心となり、企画・運営を行いました。雨の影響で、急遽場所の変更等がありましたが、ほぼ計画どおり進行し、学級の絆も深まり、新入生を大歓迎することができました。



サイバー犯罪防止教室

5月17日(金)5校時に、県警察本部少年課の荷川取尚志さんをお招きしてサイバー犯罪被害防止教室を行いました。リベンジポルノや、デジタルタトゥーなど、サイバー犯罪の恐ろしさを知り、対応策を学びました。



お礼のことば

犯罪は、私たちの身近に潜んでいるということがわかりました。私達が普段何気なく使っているスマホや SNS はとても便利なものだけど、人を簡単にだませたり、いじめにつながったりすることもありました。私たち学生にとって、身近な問題として、SNS の使い方を再度見直す必要があり、自分の言動に責任を持つことが大切だと改めて感じました。今日学習したことを日頃から意識していきたいと思えます。
瀬名波 楓音(3年)

少年犯罪防止教室

5月31日(金)5校時に、沖縄県警察本部少年サポートセンターの大山哲さんを講師にお招きして、少年犯罪防止教室を開催しました。少年犯罪の実態を知り、その問題点や対策について考える機会となりました。



生徒の感想より

今日の「少年犯罪防止教室」で、深夜徘徊は、成長の邪魔になったり、事件や事故になる可能性があったりすることがわかりました。また、飲酒したあと道路で寝てしまい、財布や大事なものを取られたり、車にひかれたりと、とても危険だと思いました。さらに、SNSでの誹謗中傷で、自殺に追い込まれる人もいて、怖いと思いました。

田崎 愛依(1年)

今日の講話を聞いて、とても自分のためになりました。SNSでの悪口の話聞いて、あらためて悪口は人の命にも大きく影響して、人を傷つけるものだと知りました。これから悪口を言わないようにし、悪口を言っている人がいたら、自分が注意してあげるか、大人(先生方)に知らせるなどして、防ぎたいと思いました。その他にも、万引きをした人から、万引きしたものを自分がもらう事も、自分の犯罪になり、罰金がかかることを知りました。

安里 琉咲(2年)

沖縄県の深夜徘徊が最も多く、今もどこかで起きていることがわかった。私は、スマホ(LINE やメール)での自殺等のトラブルが一番印象に残っている。私は気を使わなくても大きい悪口等を言ったことはないが、人はみんなそれぞれであって、自由があるから相手を傷つける。どんな悪口でも言えないことはない。しかし、相手の受け取り方によって異なる。相手の心を傷つけないためにできること。それは、自分(個人)の判断能力を高めること。講話でもおっしゃっていたとおり、想像力、イメージする力、先を見通す力、この3つが重要であると改めて学んだ。私の周りには犯罪をしている人が多分いないから、犯罪なんて遠い言葉のように聞こえてくるが、いつ巻き込まれるかはわからない。だから、悪い心を持たず、素直で思いやりのある、判断のできる、そんな風な人に私はなりたいし、そういった心を持つ人と良い関係を築きたい。

與那覇 未稀(3年)

教育実習生による授業実践

5月20日(月)から6月7日(金)の期間、教育実習生として、本校出身の井口恭太(いぐち きょうた)先生(国語)と、県外出身で琉球大学に在籍している野崎桃子(のざき ももこ)先生(英語)が、3年1組、3年5組を中心に、学級経営や、授業実践に熱心に取り組んでいます。



※スペースの都合上、あいさつ文等は、一部編集しています。ご了承ください。